

授業科目名	基礎看護技術	担当者	前田 和子、山田 雅子 藤田 節江、本吉 かおり 山下 真実子、大村 達也 山本 房代
単位	—		
時間数	212時間	学年	1学年～2年前期
授業形態	講義	開講時期	前期
授業の到達目標	患者さんの健康を維持し、改善するために必要なスキルや知識を身につける。		
授業の概要	基礎看護技術について、臨床現場で行われる、または緊急災害時に必要となりうる基礎看護技術の目的や実施上の留意点、手順、さらに事例を含めて学ぶ。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護を安全に実施するための技術 <ol style="list-style-type: none"> 1)安全・安楽 2)姿勢と動作 3)感染予防 2. 対象者の観察と看護の展開のための技術 <ol style="list-style-type: none"> 1)身体および心理・社会的側面の観察 2)情報収集と記録・報告 3)看護過程 3. 日常生活援助の援助技術 <ol style="list-style-type: none"> 1)日常生活行動の援助 2)環境調整の援助 3)活動の援助 4)休息の援助 5)衣生活の援助 6)清潔の援助 7)食事と食生活の援助 8)排泄の援助 4. 診療に伴う援助技術 <ol style="list-style-type: none"> 1)診療の補助 2)栄養補給法 3)導尿 4)浣腸 5)ストーマケア 6)罨法 7)吸入 8)吸引 9)褥瘡の予防 10)創傷の処置・ケア 11)包帯法 12)与薬 13)検査における看護 14)洗浄 15)看取りの援助 		
テキスト	新看護学6 基礎看護[2]、新看護学7 基礎看護[3] 医学書院		
評価の方法・基準	計4回：筆記試験(90点)＋実技テスト(10点)		